

はじめに



「健やかに安心して暮らし続けること」は、誰もがもつ共通の願いではないでしょうか。飯塚市では、市民の皆様が生きがいを持ち、健やかに、心豊かに笑顔で暮らしていただくためには健康を意識することが大切であると考えています。また、市民一人ひとりが健やかに「生き生き」と暮らすことは、人と人とのつながりや交流を育み、地域コミュニティの活性化を促します。外出機会が増え、公共交通を利用し商店街や商業施設で買い物をすることで地域経済の活性化、そして市全体の活性化にもつながります。

このようなことから、本市では2011年のSmart Wellness City 首長研究会への加入を契機とし、身体面の健康だけではなく、「健幸（市民の皆様が生きがいを感じ、安心して豊かな暮らしを送れること）」をまちづくりの重要なコンセプトとして、「すべての人が健康でいきいきと笑顔で暮らせるまち」を本市が目指す健幸都市の将来像に掲げ、市民の皆様「健康寿命の延伸」を目標とした「いづか健幸都市基本計画」を策定(2014)しました。

主な取り組みとしては、運動や各種検診（健診）の受診を促進するための健幸ポイント事業の実施、楽しみながら歩けるウォーキングコースの整備、気軽にスポーツや健幸イベントに参加できるよう、各地区交流センターやスポーツ施設の整備を進めてきました。また、大型商業施設、ヘルスケア産業とも連携を強化し、フレイル予防、ライフステージにあった健幸づくりの取り組みを行ってきました。

厚生労働省は2024年度から進める健康日本21（第三次）の基本的な方向として、「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」を掲げ、その中で、「社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上」、「自然に健康になれる環境づくり」、「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備」を推進しており、本市が進めてきた施策方針との連携が可能となってきました。

このような中、本市としましては、国の方針との連携を図りながら、これまでの計画の理念を継承しつつ、「個から集団へ」、「点から線へ」の「ひろがり・つながり」を重視した計画として、第3次いづか健幸都市基本計画を策定しました。

本計画が市民の皆様をはじめ、医療・福祉関係者や企業、大学など様々な主体の参画を得て、「ALL（オール）飯塚」で健幸都市を実現し、地方のロールモデル（お手本）となること、そして飯塚の価値や魅力の向上につながることを期待しております。

飯塚市長 武井政一

目次

第1章 基本計画策定の趣旨	1
第2章 飯塚市の現状	2
1 少子高齢化の状況	2
2 地域コミュニティの状況	3
3 医療・介護保険の状況	4
4 介護認定率の状況	5
5 特定健康診査・特定保健指導の実施状況	6
6 生活習慣病の治療者数	7
7 メタボリックシンドロームの状況	8
8 運動習慣の有無及び平均歩数	9
9 体育施設の利用状況	10
10 公共交通の利用状況	12
第3章 第2次いづか健幸都市基本計画の振り返り	15
1 成果	15
2 課題	15
第4章 基本方針	17
1 第3次いづか健幸都市基本計画の基本方針	17
2 計画の目的	18
3 計画の位置付け	19
4 計画の期間	19
5 計画の進捗管理	19
第5章 基本事業	20
1 まちの健幸づくり	20
2 ひとの健幸づくり	20
3 公民連携の健幸づくり	20
4 各施策の詳細	22